

令和元年度 東日本大震災復興支援事業

東日本大震災からの復旧・復興、 なりわい再生支援事業報告書

～生衛業の振興と被災地のコミュニティの推進を目指して～



令和2年3月

岩手県飲食業生活衛生同業組合

目 次

1 背景（事業の必要性）	1
2 事業の目的	1
3 事業の成果指標	1
4 事業の概要	2
5 実施計画（当初申請ベース）	2
6 実施結果	3
(1) 企画検討会議	4
・第一回企画検討会議	4
・第二回企画検討会議	5
・第三回企画検討会議（久慈地区）	6
・第三回企画検討会議（宮古地区）	6
・第三回企画検討会議（釜石地区）	7
・第三回企画検討会議（気仙地区）	7
・第四回企画検討会議	8
・第一回企画検討会議記録写真	9
・第二回企画検討会議記録写真	10
・第三回企画検討会議記録写真（久慈地区）	11
・第三回企画検討会議記録写真（宮古地区）	12
・第三回企画検討会議記録写真（釜石地区）	13
・第三回企画検討会議記録写真（気仙地区）	14
・第四回企画検討会議記録写真	15
・組合活動紹介 2/3 気仙地区	16
・組合活動紹介 1/20 釜石地区	18
・企画検討委員等名簿	20
(2) 専門家派遣（個別相談等）	21
(3) 経営等情報交換会	25
(4) 情報発信等の強化（チラシ作成等支援）	34
(5) 情報発信等の強化（飲食系ガイドマップ）	38
(6) 東日本大震災等における被災状況等調査	45
・現状、課題、今後の方向性	50
(7) 組合員の新規加入促進	52
(8) 収益力向上等実態調査	53
7 <<資料編>> 新聞記事	60

はじめに

平成 23 年（2011 年）3 月 11 日に発生した東日本大震災から満 9 年を迎える。
年月の経過とともに復興の進展度合い、課題が浮き彫りになってきている。

被災地の中心市街地が整備され、再建した店舗が次々とオープンしている中、再開を断念し廃業を決意した組合員がいたことは残念である。

一方、本設開業した組合員は、人口減少、顧客減少など、厳しい経営努力を強いられている。

さらに、新型コロナウイルス感染症による風評被害等も懸念される。

今後とも、被災地の復興に、私たち生衛業者が「連携」しながら、地域の活性化、生活衛生の振興に努めてまいりたい。

1 背景（事業の必要性）

東日本大震災から 8 年が経過し、被災地における復興・街づくりは着実に進んでいるが、岩手県生活衛生営業指導センターが実施した『東日本大震災等における営業状況等調査』（平成 30 年 11 月末現在実施）では、沿岸部組合員店舗の約 0.5 割にあたる 44 店舗が未だ本設再開に至っていない状況となっている。

また、本設予定者（25 店舗）の約 96%（24 店舗）が 2019 年度末までの本設営業再開予定となり、「本設営業再開時期未定」は 1 店舗となっている。

沿岸被災地では、市街地中心部のインフラ整備に時間がかかったこと等により、住民の内陸部への転出など人口減少に一層の拍車がかかるとともに、これまで被災地経済の一翼を担っていた復興工事が大幅に減少し、既に本設営業再開した店舗において顧客減少・売上減少による経営不安に直面している。

一方、沿岸被災地において人材確保難等人手不足、従業員の質向上、IT 等情報発信による新たな顧客獲得などの特定課題があることが営業状況等調査で明らかになった。

また、平成 30 年度に実施した収益力向上等実態調査において、**沿岸地区店舗の 44% が 1 年前に比較し『業況が悪化した』との回答があった。**

このように沿岸被災地の状況が悪化してきたこと等から、県飲食業組合が主幹組合となり組合連携のもと、より効率的に、効果的に『なりわい再生支援』を推進するため、県指導センターの企画支援を受け、岩手県内生衛組合が**連携した情報発信等**、復興支援事業に取り組んでまいりたい。

震災後 10 年となる 2020 年度末までに、沿岸被災地における被災生衛業者の自立再建、なりわい再生を図るとともに、人口減少が著しい被災地生衛業の収益力向上など経営面での対策が必要である。

2 事業の目的、目標

(1) 沿岸被災地における被災生衛業者の自立再建、なりわい再生

2020 年度末までに、全ての仮設店舗での営業を解消する。

(2) 連携した情報発信等による収益力向上

2020 年度末までに、対（2017 年度比）収益力向上 10 店舗以上

3 事業の成果指標

(1) 2020 年度末までに仮設店舗での営業を解消

(2) 2019 年度末で、飲食系組合員新規加入 10 店舗以上

(3) 被災地営業等調査を実施し、被災地のニーズや課題等を把握し、支援策の明確化と次年度以降の対応策を検討 沿岸地区全組合員（2018 年 11 月末現在 826 名）

(4) 2019 年度末で、対 2017 年度比収益力向上 3 店舗以上

4 事業の概要

(1) 役割等

- ① 幹事組合は岩手県飲食業生活衛生同業組合とし、企画検討会議を主催し、事業経費の経理を行う。
- ② 沿岸の4地区（久慈地区、宮古地区、釜石地区、気仙地区）の地区生活衛生同業組合連絡協議会（同市近郊の11生衛組合で組織）は、事業に協力する。
- ③ 岩手県生活衛生営業指導センターは、各生衛業が連携して事業を行うための企画・総合調整を行う。

(2) 実施内容

- ① 企画検討会議
- ② 相談体制の確保
- ③ 情報発信等の強化
- ④ 被災地営業状況等調査の実施
- ⑤ 沿岸組合員の新規加入促進
- ⑥ 収益力向上等実態調査

5 実施計画（当初申請ベース）

(1) 企画検討会議

- ・ 第一回：7月11日（木）、検討会議メンバー等、意見交換
（R1事業の進め方、復興支援ガイドマップ素案の検討など）
- ・ 第二回：9月11日（水）、検討会議メンバー等、意見交換
（R1事業の中間報告、復興支援ガイドマップ案の協議など）
- ・ 第三回：9月18日（水）～20日（金）、現地検討会議メンバー等、意見交換、現地調査
（復興支援ガイドマップ案、企画会社等との現地協議）
- ・ 第四回：2月3日（月）、検討会議メンバー等、意見交換
（報告書等構成協議、R2年度展開案検討など）

(2) 相談体制の確保

専門家派遣（個別相談）の実施

○沿岸4地区（久慈、宮古、釜石、気仙）の生衛組合員店舗において、特定課題（経営、人材教育、IT活用など）等の解決により、収益力向上及び経営基盤を確保するため、中小企業診断士等の専門家を派遣する。

- ① 沿岸の生衛組合員店舗⇒（派遣要請）⇒県飲食組合
- ② 県飲食組合⇒（専門家派遣）⇒沿岸の生衛組合員店舗（個別指導・相談）
- ③ 専門家⇒（実施報告書）⇒県飲食組合（指導内容等確認）⇒（相談フォロー）⇒沿岸の生衛組合員店舗

研修会等の実施

○沿岸4地区（久慈、宮古、釜石、気仙）において、特定課題（経営、人材教育、IT活用など）等の解決を図るため、県指導センター、日本政策金融公庫、地元商工会等と連携し、経営等情報交換会を実施する。

- ・ 8月26日（月）宮古市、9月2日（月）陸前高田市、9月9日（月）釜石市、9月30日（月）久慈市に出席し、必要に応じて、被災組合員の相談等対応を支援する。

(3) 情報発信等の強化

本設開業時の情報発信等支援

○沿岸4地区（久慈、宮古、釜石、気仙）の生衛組合員店舗において、本設店舗での情報発信を行う際に、チラシ告知等の経費の一部を支援する。

組合連携による情報発信

○沿岸4地区（久慈、宮古、釜石、気仙）の生衛組合員店舗の復興支援ガイドマップを作成し、三陸鉄道等、観光客を意識した情報発信を行う。

- ・ 7月中旬 事業素案検討、8月下旬 事業案協議、印刷発注、12月中旬ガイドマップ納品、配布

(4) 被災地営業状況等調査の実施

県指導センターが主導する被災地における営業状況等調査に全面協力するとともに、被災地の現状、課題を把握し、次年度以降の対策等を検討する。

11 月 営業状況等調査

2 月下旬 4 地区支部長等代表者会議での意見交換等

(5) 沿岸組合員の新規加入促進

県指導センターと連携し、沿岸 4 地区での経営等情報交換会に非組合員の参加を働きかける。
また、復興ガイドマップ作成時に合わせて役員等が非組合員店舗への情報掲載を働きかける。
以上の行動を行い、沿岸地区において、新規組合加入促進を図る。

(6) 収益力向上等実態調査

本事業の成果指標として、2019 年度末までに対前年度と比較し収益力向上のサンプル調査を行う。

・調査時期 2020 年 2 月末までに実施

・調査方法 地区生活衛生同業組合連絡協議会（地区の生衛組合支部長等で構成する団体）へ調査を委託。別途、定める調査方法に基づき、各地区 10 店舗をサンプリング調査する。

6 実施結果

当初の計画どおり実施できた。

月 日	予定時間	場 所	内容・参加予定人員等
7 月 11 日 (木)	13 : 00 ~	県美容会館 (盛岡市)	第一回企画検討委員会 本部会議 ・委員等 13 人、事務局 5 人
9 月 11 日 (水)	11 : 00 ~	県美容会館 (盛岡市)	第二回企画検討委員会 本部会議 ・委員等 12 人、事務局 11 人
9 月 18 日 (水)	10 : 00 ~	久慈グランドホテル (久慈市)	第三回企画検討委員会久慈地区会議 ・委員等 7 人、事務局 3 人
9 月 18 日 (水)	15 : 30 ~	レストランほりた (宮古市)	第三回企画検討委員会宮古地区会議 ・委員等 11 人、事務局 4 人
9 月 19 日 (木)	13 : 00 ~	市民交流センター (釜石市)	第三回企画検討委員会釜石地区会議 ・委員等 10 人、事務局 3 人
9 月 20 日 (金)	10 : 00 ~	シーパル大船渡 (大船渡市)	第三回企画検討委員会気仙地区会議 ・委員等 10 人、事務局 4 人
2 月 3 日 (月)	10 : 00 ~	サンセール盛岡	第四回企画検討委員会 本部会議

		(盛岡市)	・ 委員等 12 人、事務局 5 人
2 月 17 日 (月) ～18 日 (火)	13 : 30～	ホテル紫苑 (盛岡市)	地区連絡協議会会長等会議 ・ 委員等 20 人、事務局 6 人
3 月 27 日 (金)		復興ガイドマップ、報告書完成 (予定)	

(1) 企画検討会議

第一回 : 7 月 11 日 (木)、R1 事業進め方、復興支援ガイドマップ素案の検討
主な意見等

すし業	・ 沿岸組合員の状況は復興工事が終了し、売上げが減少し厳しい状況と聞いている。 ・ ガイドブック作成は効果的と考える、継続して実施いただきたい。
中華料理	・ 原案に賛成 ・ 手に取って見ることができる 情報発信は大事である。
社交飲食業	・ 昨年度作成の復興支援ガイドマップの作成過程で、組合への入会があった。 ・ 今年度も復興支援ガイドマップを単に作るだけでなく、組合加入促進のツールとして活用したい。 ・ 昨年度は取材対応に苦勞した店舗もあったと聞いているので、今年度は考慮いただきたい。
料理業	・ 昨年度作成の復興支援ガイドマップは、文字が小さいように感じられる。もっと大きく見やすい方がいい。 ・ 沿岸には 5 店舗弱しか組合店舗がないが、「掲載いいです」という店舗もあった。
飲食業	・ 飲食組合では、組合単独でいち早くマップを作成していた。 ・ この復興支援マップは、組合連携で作成したことに大きな意義があるし反響が大きい。 ・ 同じ飲食系店舗でも、どうしても自分の組合中心に考えてしまいがちだが、この復興支援ガイドマップの作成を通じて、横のつながりが深まった。 ・ ホテル側の評判がいい。宿泊者がマップを持参していくようである。 ・ 釜石では、9 月にラグビーワールドカップが 2 試合開催されるが、釜石市役所でこの飲食版を活用し外国語版を作成するに至った。とても良いことである。 ・ ビューティ系マップを店舗内に配架しているが、女性のお客様からの評判がいい。今後も継続して、店舗内にビューティ系マップを配架したい。 ・ このように、飲食系組合がビューティ系マップを、ビューティ系店舗が飲食系マップを店舗内に配架して情報発信することは、組合連携の取り組みとして非常に意義のある、素晴らしい取り組みである。今後も他業種がクロスしての情報発信など継続実施して、生衛組合の情報発信に努めていきたい。
食肉	・ 食肉組合員の店舗も飲食系に入れていただき感謝する。 ・ 当初は、食肉組合員店舗の情報発信をどのようにすべきか迷ったが、掲載できて良かった。
理容	・ 各店舗に飲食系マップを配架しているが、どんどん飲食系マップを持ち帰る人があり在庫が無くなった店舗もあると聞いている。

	・今年度は、ビューティ系マップは、エリア毎ではなく沿岸一冊とし、店舗の内装、人物の写真なども掲載したい。また、Ｓマークやケア理容師等の情報も掲載予定。 ・美容業組合から掲載しない方針と聞いているので、今年度のビューティ版は、理容とクリーニング店を掲載予定。 ・久慈の理容店で、Facebook でビューティ系マップ情報の発信を行っている。
美容業	・残念だが、支部長の意見として、今年度は復興支援ガイドマップビューティ版には美容業組合として店舗情報を掲載しないこととなった。 ・マップを見たお客さんから「掲載されていましたね」と声をかけられたと喜んでいる組合店舗もあったと聞いている。
旅館ホテル	・復興支援ガイドマップをインターネットなどでも情報発信していきたい。
クリーニング	・情報発信する機会が少ない業界であり、当初は「掲載してどうするの」という組合店舗もあった。 ・沿岸から内陸にクリーニングを持参する方もいる時代。 ・すごくいい取り組みだと思う。 ・情報発信も継続が大事であり、引き続き実施いただきたい。 ・昨年度、工藤アドバイザーを講師に、Facebook をやろうよと呼びかけ、ＳＮＳ等の勉強会を実施した。せっかく研修したのに、地元のお祭りしか掲載しない組合員もいる。勉強会の継続実施を検討したい。 ・インスタ映えなど、個人への情報発信、ＳＮＳはどんどん活用すべきである。
専門アドバイザー	・『ガイドマップを盛り上げよう！』と題して講義あり。 ・ガイドマップを発行して終わりではなく、一人ひとりが、ＳＮＳを活用して、さらに情報が拡散するよう努力が大切。

第二回：9月11日（水）、R1事業の中間報告、復興支援ガイドマップ案の協議
主な意見等

すし業	・ＳＮＳでの情報発信は重要であり、スマホを使用して店舗を検索する人が多い。活用したい。
中華料理	・復興ガイドマップは組合加入のツールとしても有効。活用していきたい。
社交飲食業	・組合としても被災地の復興支援は第一の目標。 - 復興ガイドマップのおかげで沿岸の組合員も少しずつ増えている。 ・マップとホームページやＳＮＳなどでの発信を連動していきたい。
料理業	・ガイドマップがＷｅｂでも検索でき、ＡＲの動画配信にも期待している。
飲食業	・ＳＮＳって何？の組合員もいる。組合でも情報交換していきたい。
食肉	・ガイドマップは大変ありがたい。お客さんが高齢化しているのでＳＮＳでの情報発信で若い人にも来客していただけるよう期待し活用努めたい。
理容	・高田の理容組合店が岩手日報に掲載された。マップ作成の成果でもある。 ・ガイドマップは飲食系とビューティ系でバスターして発信でき、うまくいったと感じる。
美容業	・今年度はマップへの掲載を見合わせた。 ・写真、文章などを掲載しない組合員が多かった。掲載しない店舗から『納得いかない』などの意見があった。 ・現状組合員の平均は70歳以上、加入促進のターゲットは40歳から50歳、ギャップがある。

旅館ホテル	・外国人がインバウンドで岩手に来ている人は数％。 ・人口減少が進む中で、交流人口を増やそうと他県から人を呼び込む取り組みをしている。 ・今後、英語だけでなく、台湾、中国からにも対応できるよう工夫いただきたい。
クリーニング	・ガイドマップには、『カード使用可』のアイコンを記載して欲しい。 ・昨年度実施した飲食系とビューティ系のマップをバーターして、各組合店舗に配布し発信したことは非常に良かった。今年度もバーター発信を続けて欲しい。 ・インバウンドで外国人がホテルに宿泊した時、しみ抜きだけでも対応したい。
専門アドバイザー	・『インバウンドとSNS』と題して講義あり。 ・東北に来る外国人が増加している。 ・雪、桜、スキーなどが好まれる ・東北は、伸びしろが有る。 ・外国人はSNSで発信し、それを見た別の外国人が来たいとなる。

第三回検討会議：9月18日（水）、現地検討会議メンバー等、意見交換
（久慈地区）での主な意見等

すし業	（欠席）
飲食業	原案に賛成 インバウンドの視点も大事にしたい。
理容	収益力向上は、組合の強化、促進からも積極的に取り組んでいきたい。
美容業	美容組合としては、復興支援ガイドマップに不参加の方針。 昨年、キャッチコピーなどの作成で煩わしかったようだ。
旅館ホテル	原案に賛成 是非、 三陸鉄道の情報 や 三陸潮風トレイルの情報 も掲載いただきたい。
クリーニング	（欠席）
専門アドバイザー	（欠席）
総合広告社	・復興支援ガイドマップの作成スケジュールは、最初に全店舗の意向確認を行い、 そ の後に順次、印刷校正の作業に入りたい。 ・なるべく、支部長さんの負担にならないよう記入シート、校正は全て、当方から 直 接、全店舗に郵送する方式に変更したい（切手貼付した返信用封筒同封）。
事務局	添書は、地区会長名で出すこととする。

第三回検討会議：9月18日（水）、現地検討会議メンバー等、意見交換
（宮古地区）での主な意見等

すし業	（欠席）
中華料理	（欠席）
料理業	原案に賛成
飲食業	宮古地区となっているが、 宮古・山田地区 としていただきたい。 表紙を4地区毎に色分けいただきたい。

理容	チラシ作成支援にエントリーしたい。
美容業	美容組合としては、復興支援ガイドマップに不参加の方針。
旅館ホテル	岩泉・田野畑地区も入れていただきたい。
クリーニング	(欠席)
専門アドバイザー	SNSについて、別紙によりアドバイスあり。
総合広告社	表紙の地区名を「宮古・山田・岩泉・田野畑」とする。 表紙とアクセスマップの色を地域毎に変えて区別できるようにする。 三陸鉄道、三陸潮風トレイルの情報を掲載することとしたい。
事務局	添書は、地区会長名で出すこととする。

第三回検討会議：9月19日（木）、現地検討会議メンバー等、意見交換
（釜石地区）での主な意見等

すし業	原案に賛成、このような連携して情報発信することは、いい事業である。 他地区版も2～3部欲しい。
中華料理	釜石地区版の配布は、最低でも10冊は欲しい。
社交	原案に賛成 ラグビーW杯関連で、イングランドが来たがビールを飲むだけだった。
飲食業	原案に賛成
理容	原案に賛成
美容業	美容組合は復興支援ガイドマップに不参加の方針。
旅館ホテル	原案に賛成 配布先は、ホテルの場合は、ロビーではなく、各客室に配置したい。
クリーニング	(欠席)
専門アドバイザー	SNSについて、別紙によりアドバイスあり。
総合広告社	表紙とアクセスマップの色を地域毎に変えて区別できるようにする。 三陸鉄道、三陸潮風トレイルの情報を掲載することとしたい。
事務局	添書は、地区会長名で出すこととする。

第三回検討会議：9月20日（金）、現地検討会議メンバー等、意見交換
（気仙地区）での主な意見等

すし業	(欠席)
中華料理	(欠席)
飲食業	原稿校正は支部長へ一括送付いただきたい。各支部員へ伝えながら依頼することとしたい。 昨年、復興支援ガイドマップ20冊配布されたが、直ぐに無くなった。 20冊では足りない ので配布部数を多くしていただきたい。
理容	原案に賛成、チラシ作成支援にエントリーしたい。
美容業	原案に賛成、復興支援ガイドマップに参加できずに残念。
旅館ホテル	原案に賛成 昨年の復興支援ガイドマップは直ぐに在庫が無くなった。 好評だった 。
クリーニング	(欠席)

専門アドバイザー	(欠席)
総合広告社	表紙とアクセスマップの色を地域毎に変えて区別できるようにする。 三陸鉄道、三陸潮風トレイルの情報を掲載することとしたい。
事務局	添書は、地区会長名で出すこととする。

第四回：2月3日（月）、R1 事業報告、R2 年度展開案検討
主な意見等

すし業	・本日、恵方巻きの日で代理出席。復興支援ガイドマップを楽しみにしている。すし組合としても、本マップを活用し沿岸組合員増加に努めていきたい。
中華料理	・昨年一覧掲載が多かったが、その反省から今年は写真掲載希望が多数出てきた。 アンケート結果にもあるように釜石地区は厳しい状況なので、マップ掲載をチャンスと捉え、 店舗の情報発信に努めていきたい 。いい事業であり 継続して欲しい 。
社交飲食業	(欠席)
料理業	・沿岸には5店舗のみであるが、 情報発信のチャンス であり、とてもいい事業である。
飲食業	・印刷校正等、連絡が取れない店舗については、本日午後に会議があるので、その際、沿岸の各支部長に確認していきたい。 ・アンケート結果にもあるように沿岸部の経営が大変な状況。このような時にこそ、このように各組合が連携して情報発信に取り組むことは非常に有意義なことと思う。引き続きご協力をお願いします。
食肉	原案に賛成
理容	・昨年、飲食系マップを店舗内に設置したところ、お客さんから欲しいと言われ、直ぐに在庫が無くなるなど好評であった。今年も飲食系マップの店内配置を行いたいので部数増に配慮いただきたい。 ・ビューティ系マップを作成中であるが、今年度も 昨年同様バスターして各店舗に配置いただきたい 。
美容業	・今年度はビューティ系マップに参加していない。 ・昨年度の感想として、このような事業は、組合・店舗・印刷会社・指導センターなど様々な連携が大切だと感じた。
旅館ホテル	・旅館ホテル組合としては、昨年度同様、地区内のホテル部屋に応じた配布をいただけるとのことから、 しっかりと情報提供していきたい 。
クリーニング	・昨年度の飲食系マップの店内配置は、お客様の反応が良かった。是非、今年度も同様に店内配置したいので、よろしくお願いしたい。
専門アドバイザー	「マップ完成後のSNS等での情報発信」について、アドバイスあり。
総合広告社	・なるべく最新の情報を掲載したいので、各組合事務局の情報提供など、よろしくお願いしたい。
事務局	・本日の各委員からの意見も踏まえ、 2/17 地区会長等会議に配布案を提示 する。 ・3/19 納品に向けて、組合事務局等の協力をお願いします。

復興支援連携事業第一回企画検討会議（本部：盛岡）

（令和元年 7 月 11 日 盛岡市 県美容会館）

小笠原理事長挨拶



議長は、高橋すし組合専務理事（盛岡地区連絡協議会会長）



工藤専門アドバイザーから講義「ガイドマップを盛り上げよう！」と題して講義



復興支援連携事業第二回企画検討会議（本部：盛岡）

（令和元年 9 月 11 日 盛岡市 県美容会館）

開会（中居専務）



小笠原理事長挨拶



議長は、高橋すし組合専務理事
（盛岡地区連絡協議会会長）

工藤専門アドバイザーから講義「インバウンドとSNS」



復興支援連携事業第三回企画検討委員会

久慈地区検討会議

(令和元年9月18日 久慈市 久慈グランドホテル)

小笠原理事長挨拶



久慈地区生衛組合連絡協議会 桑畑会長進行



復興支援連携事業第三回企画検討委員会

宮古地区検討会議

(令和元年 9 月 18 日 宮古市 レストランほりた)

小笠原理事長挨拶



宮古地区生衛組合連絡協議会 堀田会長進行



復興支援連携事業第三回企画検討委員会

釜石地区検討会議

(令和元年 9 月 19 日 釜石市 市民交流センター)

小笠原理事長挨拶



釜石地区生衛組合連絡協議会 藤井会長進行



復興支援連携事業第三回企画検討委員会

気仙地区検討会議

(令和元年 9 月 20 日 大船渡市 シーパル大船渡)

小笠原理事長挨拶



気仙地区生衛組合連絡協議会 黒澤会長進行



復興支援連携事業 第四回企画検討会議（本部：盛岡）

（令和２年２月３日 盛岡市 サンセール盛岡）

小笠原理事長挨拶



工藤アドバイザーからアドバイス



生活衛生同業組合とは…

生衛業の振興発展のために「生活衛生関係事業者」によりつくられた組合で、厚生労働大臣の認可を受けて設立されました。

国や県の指導を受け、生衛業関係者のための衛生水準向上や経営の健全化・振興を図るための自主的活動をしています。現在岩手県にある組合は11業種。



大船渡支部
千葉 武蔵さん

現在、大船渡支部では「人が集まる」「喜びや感動を増やす」など、各飲食店がさらにワンランク上の接客を目指すように、企業とパートナー契約を登録。このような活動を他の沿岸支部も積極的に取り入れながら、沿岸全体の飲食業の活性化に

有線サービスの パートナー契約について



大船渡支部
志田 籍隆さん



大船渡支部
新沼 栞さん



釜石支部
藤井 和幸さん

繋げていく考えが提案されました。
セイエイ塾 in 釜石の報告並びに組合としての方針
令和2年1月20日に開催された「セイエイ塾 in 釜石」にて、今後の飲食業組合としての活動対策案などが話し合われ、そこで議論された「地域活性化」「後継者



釜石支部
平松 正浩さん

問題」「ラグビー後の売上げ維持」など各課題に對して出された意見等の報告がありました。また、今後の理事会でもより連携を強くするため、SNSを活用した意見交換の取り組みなども提案されました。

組合活動紹介

岩手県飲食業生活衛生同業組合の 理事会が気仙地区で開催

令和2年2月3日、大船渡温泉にて、
理事会（平成31年度・第5回）が行われました。



令和元年度事業の中間報告

昭和37年から続く「全飲連全国大会」が、今年6月に群馬県高崎市で開催される旨の報告がありました。今後の沿岸地区の組織発展と業界の振興・情報交換等を目的に、積極的な参加を目指した話し合いが進められました。

通常総会について

毎年5月に開催している通常総会について協議



岩手県飲食業生活衛生同業組合
理事長
小笠原義彦さん

しました。令和元年度の活動の集大成となる場であり、功労者へは表彰が行われます。毎年、開催場所は各支部で持ち回りとなつ



陸前高田支部
佐々木浩さん

ており、令和2年度は紫波支部での開催が決まっています。

組合活動紹介

若手・後継者等人材育成事業「岩手セイエイ塾 in 釜石」

組合の将来を担う若手・後継者等の 人材育成・ネットワーク支援を図る研修会

令和2年1月20日、釜石ベイシティホテルにおいて、生衛組合の将来を担う若手・後継者等の人材育成・ネットワーク支援を目的とした研修会が開催されました。生活衛生関係業者の業種横断的な交流により組合組織の円滑な運営と発展を図り、消費者・地域への貢献にもつなげていきます。

《研修内容》

①【開会・講義】

【テーマ】

生衛組合・生衛業を取り巻く
環境の変化と課題

【講師】

公益財団法人岩手県生活衛生
営業指導センター

専務理事兼事務局長

中居 哲弥氏

②【講義】

【テーマ】

サービス業への
ワンポイントアドバイス
「あなたの好印象で、売上増、収
益力向上を目指しましょう」

【講師】

岩手県生活衛生関係営業復興
支援連携事業専門アドバイザー

スマイルトレーナー⑧

工藤 晴香氏

③【講義】

【テーマ】

超高齢社会における
今後の生衛業
「生衛業、生衛組合の社会的機
能への期待」

【講師】

公益財団法人全国生活衛生営
業指導センター

研究員 桑原 廣美氏

④【グループ討議・発表】

A班・B班・C班の3グループ
に分かれ、班ごとのテーマでミ
ティング・ブレインストーミングで
議論を深めました。





岩手県生活衛生営業指導センター
岩手県生活衛生同業組合中央会
岩手県生活衛生同業組合

災害支援協定
参加店
ステッカー

同協定は、岩手県内において「大規模な災害が発生」した時に、住民に最も身近な生活衛生営業者が、**社会貢献活動の一環と地域防災力向上**のために取り組んでいるものです。

岩手県生活衛生同業組合中央会及び地区生活衛生同業組合連絡協議会は、平成24年度に沿岸部全12市町村と盛岡市・岩手県知事、平成29年7月には矢巾町との間で、「大規模災害発生時における支援協定」を締結しました。

「大規模災害発生時における支援協定」締結

協定の内容は、宿泊施設を避難場所として提供することや、食料の提供及び炊き出し、避難所のシーツ等のクリーニング、被災者への入浴サービス、映画館等を帰宅困難者に対して休憩場所として提供、帰宅困難者に対する水、トイレ提供、災害情報の提供などです。

岩手県生活衛生営業指導センターでは、東日本大震災後に各生活衛生同業組合や行政機関と連携し、災害救助法に基づく**避難所の給食支援(60万食提供)**事業や、厚生労働省・全国指導センターの支援のもと、各地で福興応援団「暮らし再建・なりわい再生」事業を立ち上げて、被災地支援・被災

営業者支援等を実施しました。被災地支援活動には、生活衛生同業組合員だけではなく全ての生活衛生関係営業者及び、それ以外の事業者の方々との連携も必要になります。

これまでに、**岩手県総合防災訓練に5回参加**しており、日常訓練の段階から行政機関、関係団体や地域住民と連携し、地域防災力向上に努めていくこととしています。



2012年10月17日宮古市



2013年1月11日大船渡市



2012年12月27日釜石市



2012年9月5日
(久慈市、洋野町、野田村、替代村)

【お問い合わせ】公益財団法人 岩手県生活衛生営業指導センター

〒020-0883 盛岡市志家町3-13 岩手県美容会館内 TEL.019-624-6642

復興支援連携事業企画検討委員等一覧

○企画検討委員

2020. 1. 15 現在

	本部（盛岡）	久慈地区	宮古地区	釜石地区	気仙地区
地区協会長 （委員長）	高橋 剛一	桑畑 博	堀田 尚志	藤井 和幸	黒澤 泉
すし業	吉津 賢次郎 高橋 剛一	小林 明	佐々木 良男	細田 勝夫	-----
中華料理	川口 充	-----	北川 克	坂本 倉蔵	鈴木 滋
社交飲食業	西部 邦彦	-----	-----	山崎 公平	-----
料理業	大村 由里子	-----	-----	-----	-----
飲食業（主幹組合）	小笠原 義彦	大宮 清一	横田 博安	藤井 和幸	千葉 武継 水野 清孝 佐々木 浩
食肉	竹村 武由	-----	-----	-----	-----
理容（主幹組合）	湊 正美	吉田 勉	黒田 豊	菅原 和美	大坂 司
美容業	深澤 泉	外館 千加子	佐々木 房枝	芳賀 亜矢子	今野 陽子
興行	-----	-----	-----	-----	-----
旅館ホテル	佐藤 康	桑畑 博	近江 勇	新里 耕司	今野 廣己
クリーニング	林 伸介	-----	-----	-----	-----

○専門アドバイザー

WEBコンサルタント	工藤 晴香
SNS 運用フォロー等情報発信	

○事務局

飲食業組合	高橋 いくみ
理容組合	菊池 葉子
	長田 里美
美容業組合	今野 民子
クリーニング組合	樋澤 律子
指導センター	中居 哲弥
	佐々木 浩明

令和元年度 専門家派遣（個別相談等）の実施

2020. 2. 27 現在

専門家派遣 個別指導（12回）

	店舗名（市町村）、派遣日	参考
1	飲食（山田町）、 8/25	経営アドバイス 講師：工藤健人氏
2	理容（宮古市）、 9/9	SNS、Instagram情報発信（上級編） 講師：中村美緒氏
3	理容（大船渡市）、 9/19	SNS、Instagram情報発信（上級編） 講師：中村美緒氏
4	飲食（久慈市）、 9/29	経営アドバイス 講師：工藤健人氏
5	旅館ホテル（陸前高田市）、 10/22～24	従業員向け『おもてなし研修』3日コース 講師：鈴木忠美氏
6	旅館ホテル（大船渡市）、 11/5～6	『おもてなし研修』 講師：鈴木忠美氏
7	理容（釜石市）、 11/27	SNS、Instagram情報発信（上級編） 講師：中村美緒氏
8	旅館ホテル（一関市）、 12/23～24	経営アドバイス 講師：工藤健人氏
9	旅館ホテル（釜石市）、 2/5～6	SNS情報発信 講師：工藤晴香氏
10	理容（山田町）、 2/10	スマイル講座 講師：工藤晴香氏
11	旅館ホテル（大槌町）、 2/10～11	SNS情報発信 講師：工藤晴香氏
12	飲食（大船渡市）、 3/5～6	SNS情報発信 講師：工藤晴香氏

理容気仙支部 専門家派遣（事例紹介：Instagram情報発信）

（令和元年 9 月 19 日 岩手県大船渡市）

気仙支部 大坂支部長あいさつ

中村美緒講師



インスタ映えのポーズ指導

旅館ホテル 専門家派遣（事例紹介：おもてなし研修）

（令和元年 10 月 22 日～24 日 岩手県陸前高田市）

鈴木忠美講師



接客指導

配膳指導



講話



理容・美容山田支部 専門家派遣（紹介事例：スマイル講座）

（令和2年2月10日 岩手県山田町）

湊理事長あいさつ



工藤晴香講師

講義『スマイルトレーニング』



親子で参加



美容山田支部長から「楽しかった」旨発言あり

生衛業者
向け

収益力 向上 セミナー

無料

「2019 年度厚生労働省国庫補助事業」～2019 年度生衛業収益力向上セミナー～

日時

令和元年

8 月 26 日 (月) 9 : 30 ~

場所

宮古ホテル沢田屋

宮古市新町 4-1 ☎0193-62-7711

対象

宮古・山田地域の生活衛生関係営業者 定員 **30 名** (先着順)



9:30~10:00 情報提供:(公財)岩手県生活衛生営業指導センター

宮古商工会議所

10:00~11:00 講演【人口減少、少子高齢化に負けない経営術】



講師: **工藤健人氏**

工藤健人中小企業診断士事務所代表

11:00~11:20 情報提供【働き方改革等について】

岩手県働き方改革推進支援センター

11:20~11:30 情報提供【『公庫資金』の活用方法】

日本政策金融公庫 盛岡支店

11:30~ 個別相談(希望者のみ) ※1 事業者 30 分程度

お申込み方法は、裏面をご参照ください。

【主催】公益財団法人 岩手県生活衛生営業指導センター

〒020-0883 盛岡市志家町 3-13 岩手県美容会館内 Tel : 019-624-6642 FAX : 019-654-2741

【共催】宮古商工会議所、(株)日本政策金融公庫、宮古地区生活衛生同業組合連絡協議会

生衛業者
向け

収益力 向上 セミナー

無料

日時

令和元年

9月2日(月) 9:30～

場所

キャピタルホテル 1000

陸前高田市高田町字長砂60-1 ☎0192-55-3111

対象

気仙地域の生活衛生関係営業者 定員 **30名**(先着順)

「2019年度厚生労働省国庫補助事業」～2019年度生衛業収益力向上セミナー～



9:30～10:00 情報提供:(公財)岩手県生活衛生営業指導センター

陸前高田商工会

10:00～11:00 講演【人口減少、少子高齢化に負けない経営術】



講師: **工藤健人氏**

工藤健人中小企業診断士事務所代表

11:00～11:20 情報提供【働き方改革等について】

岩手県働き方改革推進支援センター

11:20～11:30 情報提供【『公庫資金』の活用方法】

日本政策金融公庫 一関支店

11:30～ 個別相談(希望者のみ) ※1 事業者 30分程度

お申込み方法は、裏面をご参照ください。

主催 公益財団法人 岩手県生活衛生営業指導センター

〒020-0883 盛岡市志家町 3-13 岩手県美容会館内

TEL: 019-624-6642 FAX: 019-654-2741

共催 陸前高田商工会、(株)日本政策金融公庫、気仙地区生活衛生同業組合連絡協議会

生衛業者
向け

収益力 向上 セミナー

無料

日
時

令和元年

9月9日(月) 9:30～

場
所

釜石ベイシティホテル

釜石市大町 1-8-1 ☎0193-22-6611

対
象

釜石・大槌地域の生活衛生関係営業者 定員 **30名**(先着順)

「2019年度厚生労働省国庫補助事業」～2019年度生活衛生業収益力向上セミナー～



9:30～10:00 情報提供:(公財)岩手県生活衛生営業指導センター

釜石商工会議所

10:00～11:00 講演【人口減少、少子高齢化に負けない経営術】



講師: **工藤健人氏**

工藤健人中小企業診断士事務所代表

11:00～11:20 情報提供【働き方改革等について】

岩手県働き方改革推進支援センター

11:20～11:30 情報提供【『公庫資金』の活用方法】

日本政策金融公庫 盛岡支店

11:30～ 個別相談(希望者のみ) ※1 事業者 30分程度

お申込み方法は、裏面をご参照ください。

主催 公益財団法人 岩手県生活衛生営業指導センター

〒020-0883 盛岡市志家町 3-13 岩手県美容会館内

TEL: 019-624-6642 FAX: 019-654-2741

共催 釜石商工会議所、(株)日本政策金融公庫、釜石地区生活衛生同業組合連絡協議会

生衛業者
向け

収益力 向上 セミナー

無料

日時

令和元年

「2019 年度厚生労働省国庫補助事業」～2019 年度生衛業収益力向上セミナー～

9 月 30 日（月） 9:30～

場所

久慈グランドホテル

久慈市川崎町 10-15 ☎0194-52-2222



対象

久慈地域の生活衛生関係営業者 定員 30 名(先着順)

9:30～10:00 情報提供:(公財)岩手県生活衛生営業指導センター

久慈商工会議所

10:00～11:00 講演【人口減少、少子高齢化に負けない経営術】



講師:工藤健人氏

工藤健人中小企業診断士事務所代表

11:00～11:20 情報提供【働き方改革等について】

岩手県働き方改革推進支援センター

11:20～11:30 情報提供【『公庫融資』活用のススメ】

日本政策金融公庫 八戸支店

11:30～ 個別相談(希望者のみ) ※1 事業者 30 分程度

お申込み方法は、裏面をご参照ください。

主催 公益財団法人 岩手県生活衛生営業指導センター

〒020-0883 盛岡市志家町 3-13 岩手県美容会館内

TEL : 019-624-6642 FAX : 019-654-2741

共催 久慈商工会議所、(株)日本政策金融公庫、久慈地区生活衛生同業組合連絡協議会

令和元年度経営等情報交換会出席者数一覧(実績)

	8月26日 (宮古)	9月2日 (高田)	9月9日 (釜石)	9月30日 (久慈)			合計
すし業							0
中華料理			2				2
社交飲食業			4				4
料理業	1						1
飲食業	1	8	5	1			15
食肉							0
理容	4			3			7
美容業	2	3	2	4			11
興行							0
旅館ホテル	2	2					4
公衆浴場業							0
クリーニング							0
一般	0	1	0	0			1
生衛事業者小計	10	14	13	8	0	0	45
指導センター	2	3	3	3			11
講師等	1	1	1	1			4
商工会、会議所	1	1	1	1			4
働き方センター	1	1	1	1			4
公庫	1	1	1	1			4
関係機関小計	6	7	7	7	0	0	27
合計	16	21	20	15	0	0	72

通知方法等(パンフレット送付等)

	8月26日 (宮古)	9月2日(高 田)	9月9日 (釜石)	9月30日 (久慈)			合計
各組合	200	200	250	250			900
指導センター	99	35	81	90			305
商工会議所	50	50	50	50			200
公庫	30	30	30	30			120
一般	121	185	89	80			475
合計	500	500	500	500	0	0	2000

一般参加率: 1人/475=0.2%

8/26宮古10人、9/2高田14人、9/9釜石13人、9/30久慈8人 計45人

研修会等の実施（経営等情報交換会 in 宮古）

1 実施時期：令和元年 **8月26日(月)** 9時30分～11時30分

2 実施場所：**宮古ホテル沢田屋**
(宮古市新町 4-1 ☎0193-62-7711)

3 出席者数：**10名**

4 説明内容

説明内容等	時間(分)	説明者 氏 名	説明者の所属、職名等
挨拶	3 分	小笠原義彦	県飲食業組合理事長
情報提供（生活衛生営業を巡る最近の動き）	12 分	中居 哲弥	岩手県生活衛生営業指導センター 専務理事
情報提供（経営等に役立つホットな情報等）	15 分	宮本 淳一郎	宮古商工会議所 中小企業相談所所長
講演 「人口減少、少子高齢化に負けない経営術」	60 分	工藤 健人	工藤健人中小企業診断士事務所代表
情報提供（働き方改革等について）	20 分	小菅 久義	岩手働き方改革推進支援センター長
日本政策金融公庫資金の活用方法等について	10 分	小原 禎宏	日本政策金融公庫盛岡支店 融資第二課長
質疑		(なし)	
個別相談		(なし)	
計	時間(分) 2時間00分	—	—

研修会等の実施（経営等情報交換会 in 高田）

（令和元年 9 月 2 日 岩手県陸前高田市）

小笠原 飲食業組合理事長あいさつ

情報提供（陸前高田商工会）



講演（中小企業診断士 工藤健人氏）

情報提供（岩手働き方改革推進支援センター）



情報提供（日本政策金融公庫）



研修会等の実施（経営等情報交換会 in 釜石）

（令和元年 9 月 9 日 岩手県釜石市）

小笠原 飲食業組合理事長あいさつ

情報提供（釜石商工会議所）



講演（中小企業診断士 工藤健人氏）



情報提供（岩手働き方改革推進支援センター）

情報提供（日本政策金融公庫）



研修会等の実施（経営等情報交換会 in 久慈）

（令和元年 9 月 30 日 岩手県久慈市）

小笠原 飲食業組合理事長あいさつ

情報提供（指導センター 中居専務）



講演（中小企業診断士 工藤健人氏）



情報提供（岩手働き方改革推進支援センター）

情報提供（日本政策金融公庫）



情報発信等の強化

本設店舗開業時の情報発信等支援（実績一覧）

2020.3.16 現在

	氏名・店舗名（組合支部名）	実施内容等	実施報告書提出日
1	熊谷益雄・日益屋熊谷精肉店（食肉組合気仙支部）	チラシ	11/1 実施報告
2	黒田 豊・カットサロンくろだ（理容組合宮古支部）	広報誌	11/1 実施報告
3	佐々木浩・陸丸（飲食業組合陸前高田支部）	新聞	12/4 実施報告
4	白土留美子・ライフル（飲食業組合山田支部）	チラシ	2/12 キャンセル報告
5	大坂 司・とこやさんおおさか（理容組合気仙支部）	新聞	3/13 実施報告
6	平野多恵子・なみいた美容室（美容業組合釜石支部）	チラシ	3/25 頃実施予定

11/3日 移転OPEN 日益屋 熊谷精肉店

このたびお陰様で、震災前の高田町に店舗をオープンすることが出来ました。

開店セールといたしまして、いわちく商品の特売価格にてご用意してご奉仕いたします。

店内には、その他お買得品をご用意しておりますので、ぜひお立ち寄り下さい。

これからも、皆様に愛される様頑張りますので、よろしくお願いします。

皆様のご来店を
お待ちしております！



毎月29日は

肉の日

営業時間/10:00~18:00
定休日/水曜日、他

〒029-2205 陸前高田市高田町字本宿2-1 (KD14-3)
☎0192-55-2669 FAX0192-22-7125



令和元年厚生労働省関係官報補助会事業

アカシヤ理容室
おしゃれサロンスズキ
カットサロンくろだ
カットサロンひまわり
和 ところや
髪彩工 KIMURA
河内理容所
佐和理容所
白バラ理容所
すずき床屋
Stories
滝田理容所
とこやさん 髪染
とこやのいしだ
とこや松澤
ながほら理容
永洞理容所
長洞理容店
Barber shop ねことこ
ファミリーサロンユタカ
FAKE

TEL 0193-62-6668
TEL 0193-62-7738
TEL 0193-62-4650
TEL 0193-62-3082
TEL 0193-65-1877
TEL 0193-67-3088
TEL 0193-78-2711
TEL 0193-78-2333
TEL 0193-72-3341
TEL 0193-62-6848
TEL 0193-64-6818
TEL 0193-72-2545
TEL 0193-62-2494
TEL 0193-87-2904
TEL 0193-62-0590
TEL 0193-67-2429
TEL 0193-63-4436
TEL 0193-67-2001
TEL 0193-77-5044
TEL 0193-62-6139
TEL 0193-64-3631

謹賀



新年

2020
HAPPY NEW YEAR



ヘアースalonくまがい TEL 0193-62-1400
ヘアースalonシャルマン TEL 0193-67-2677
ヘアースalonSORa TEL 0193-62-5202
ヘアースalonたなか TEL 0193-64-4008
ヘアースalonナカシマ TEL 0193-67-2563
ヘアースalonホシ TEL 0193-62-8317
ヘアースalonREILU TEL 090-2603-1661
八木理容所 TEL 0193-62-3319
よしだ床屋 TEL 0193-63-4051
理容アキ TEL 0193-63-8286
理容上田 TEL 0193-63-2269
理容おぼない TEL 0193-63-0566
理容オモト TEL 0193-63-8377
理容サイトウ TEL 0193-76-2427
理容ささき TEL 0193-64-3553
理容さわぐち TEL 0193-87-3900
理容タカハシ TEL 0193-63-6662
理容タザワ TEL 0193-62-8819
理容トットリ TEL 0193-62-9225
理容ふく川 TEL 0193-62-4774
理容細川 TEL 0193-62-5273
理容まえた TEL 0193-62-0772
理容まるやま TEL 090-9535-4613

私たち組合員のモットーは、**安心・安全・清潔**です

岩手県理容生活衛生同業組合 宮古支部



安心

技術講習会に出席し、
たしかな技術を習得しています。

安全

万一の事故にも、
しっかりとした保障制度があります。

清潔

衛生講習会に出席し、
器具消毒法を習得しています。





陸前高田市の皆様へ
私たちは、食の安全・安心を
お届けします。

予約 忘新年会 承ります!

ご予算に応じますので、お気軽にお電話ください。



岩手県飲食業生活衛生同業組合

陸前高田支部

味彩 TEL0192-4724665
味と人情の 鶴亀庵 TEL0192-54-2998
あべや TEL0192-55-2325
うまい坊 TEL090-9037-5891
かき小屋 広田湾 TEL090-8784-2114
家庭料理 井筒屋 TEL0192-55-3749
カフェードバー わいわい TEL090-8585-9607
キャピタルホテル1000 TEL0192-55-3111
京亭 TEL0192-54-4433
車屋酒場 TEL0192-54-5551

ごんの屋 TEL080-1804-0618
昇龍厨房 四海楼 TEL0192-55-6525
ジャスタイム ジョニー TEL0192-54-3934
十五番 TEL0192-55-2555
旬食彩工房 海浜館 TEL0192-53-1567
食堂 かもん TEL0192-55-4007
スナック みそら TEL0192-47-3614
すなっく 真弓 TEL0192-54-2921
ダイニング&バルさらり TEL0192-55-6900
ダイニング しば多 TEL0192-22-7791

中華食堂 熊谷 TEL0192-54-3300
福光岩張楼 TEL0192-55-5366
Bricks.808 TEL090-7663-8430
ほっかほっか亭大船渡店 TEL0192-21-6811
マスカット TEL090-7664-4123
やぶ屋 TEL0192-55-2053
Loop TEL0192-55-6535
陸丸 (れもんはーと) TEL0192-47-3653
和笑輪 TEL0192-54-3883

(アイワエオ順)

2020 版 復興支援連携事業～飲食系ガイドマップ～

2020.3.3

- 掲載対象業種：すし、中華、社交、料理、飲食、食肉、旅館ホテル組合加入の7業種
- 掲載対象地域：久慈地区、宮古地区（岩泉含む）、釜石地区、気仙地区
- 掲載内容：沿岸エリアの店舗情報とし、HP上でも周知可能な内容

必須掲載情報

- 店舗情報（店名、住所、営業時間、休日、駐車場有無、主要メニュー、店舗画像、店舗位置）
- 飲食業組合理事長あいさつ
- 組合加入メリット等
- 沿岸飲食業の復興に向けた取り組みインタビュー（沿岸地区の飲食業組合 各支部長）
- 三陸沿岸の観光、名産品情報
- 三陸鉄道

- 組合員数・当初部数（当初計画）

	すし	中華	社交	料理	飲食	食肉	旅館ホ	計	作成部数
久慈	2				13	8	18	41	5,000 部
宮古	5	22		1	31	2	18、11	90	5,000 部
釜石	1	35	15	1	37	5	20	114	5,000 部
気仙	1	4		3	87	7	27	129	5,000 部
	9	61	15	5	168	22	94	374	

- 配布先

	掲載組合店舗	旅館ホテル全室	道の駅	三鉄駅	JR駅	観光協会	※理美容、クリーニング組合店舗	タコ会社	※予備	指導センター	作成部数
久慈	720	2,000	500	500	500	300	140	90	115	135	5,000 部
宮古	1,520	1,400	700	200	400	500	135	330	125	120	5,430 部
釜石	2,000	1,700	300	200	400	300	125	120	130	190	5,465 部
気仙	2,520	1,900	500	200	600	600	110	210	125	85	6,850 部
	6,760	7,000	2,000	1,100	1,900	1,700	510	750	495	530	22,745 部

※JR駅は、久慈、宮古、釜石、盛、高田、盛岡、新花巻、北上、水沢江刺、一関

※理美容、クリーニング店舗配布先内訳

久慈：理容 50、美容 80、クリーニング 10

宮古：理容 85、美容 40、クリーニング 10

釜石：理容 60、美容 55、クリーニング 10

気仙：理容 65、美容 35、クリーニング 10

※予備配布先内訳

久慈：飲食 100 部、すし 5 部、食肉 5 部、旅館 5

宮古：飲食 100 部、すし 5 部、中華 5 部、料理 5 部、食肉 5 部、旅館 5 部

釜石：飲食 100 部、すし 5 部、中華 5 部、社交 5 部、料理 5 部、食肉 5 部、旅館 5 部

気仙：飲食 100 部、すし 5 部、中華 5 部、料理 5 部、食肉 5 部、旅館 5 部

安全・安心、衛生管理の向上に努めています！

岩手県生活衛生同業組合
沿岸地区 加盟店 情報誌

ようこそ、久慈地区へ

2020版 復興支援連携事業 飲食系ガイド マップ

ふじポンも
オススメ

久慈地区の美味しいお店
36店掲載!!

アプリも用意
してスマホで
かざすと地図が
見れます。



COCOAR2 (無料)
[iOS/Android/PC] 対応
Startale Co., Ltd.



HPも
ご覧ください



おいしい海鮮!

地元食材たっぷり
グルメ!

自慢の寿司!

新鮮な味!

海の絶景!

主幹：岩手県飲食業生活衛生同業組合
協力：岩手県すし業生活衛生同業組合、岩手県中華料理生活衛生同業組合、岩手県社交飲食業生活衛生同業組合、
岩手県料理業生活衛生同業組合、岩手県食肉生活衛生同業組合、岩手県旅館ホテル生活衛生同業組合
企画：公益財団法人岩手県生活衛生営業指導センター
平成31年度 生活衛生関係営業対象事業費補助金事業

組合活動紹介

生産衛生営業組合とは…
生産衛生営業活動のために「生活衛生営業指導センター」によりつくられた組合で、厚生労働大臣の認可を受けて設立されました。
国や県の指導を受け、生産衛生業者のための衛生水準向上や経営の健全化・振興を図るための自主的活動をしています。
現在岩手県にある組合は11箇所。

講習の様子

運営組合

《蒸しタオルでのリフレッシュ(アイスリ)》

講師
☆岩手県運営衛生生活衛生同業組合
久慈支部 支部長 吉田 勉さん(サロディンあいり)
☆岩手県衛生生活衛生同業組合
久慈支部 副支部長 栗野 功さん

蒸しタオルで目や肩の筋肉をほぐします

美容組合

《若さを保つための
ヘアケア＆メイクの仕方》

講師
☆岩手県美容衛生生活衛生同業組合
久慈支部 支部長 外堀 千加子さん
(ビューティーサロンカフェ)

アツアツの泡をつかって顔にやさしい洗顔を

食肉組合

《おいしい岩手牛の選び方》

講師
☆岩手県食肉衛生生活衛生同業組合
巻根 渡辺 修司さん

豊かな大地が育む「岩手牛」の魅力を知って

飲食業組合

《おいしい
太巻き寿司のつくり方》

講師
☆岩手県飲食衛生生活衛生同業組合
利根原 屋野 敏宏さん

プロのコツを教わりながら寿司づくりを体験

令和元年9月30日、山形県人権センター(山形市町において、久慈地区第3回交流サロン)で「健康で幸せに暮らしていくための「交流サロン」に地域住民が参加

参加者30名が熱心に耳を傾けていました。

「交流サロン」として開催
参加者から「もっとメタボを減らしたい」「もっとメタボを減らしたい」という声が多く聞かれました。また、健康で幸せに暮らしていくための「交流サロン」に地域住民が参加

05

04

安全・安心、衛生管理の向上に努めています！

岩手県生活衛生同業組合
沿岸地区 加盟店 情報誌

ようこそ、釜石地区へ

2020版
復興支援連携事業
飲食系ガイド
マップ

ふじポンモ
オススメ

釜石地区の美味しいお店
104店掲載!!

おいしい海鮮!

地元食材たっぷり
グルメ!

自慢の寿司!

新鮮な味!

海の絶景!

HPも
ご覧ください!

アプリも
ご利用ください!

COCOAR2 (無料)
iOS/Android対応
Startlab Co., Ltd.

主催:岩手県飲食業生活衛生同業組合
協力:岩手県すし・生鮮生活衛生同業組合、岩手県中・小料理生活衛生同業組合、岩手県社会飲食業生活衛生同業組合、
岩手県料理生活衛生同業組合、岩手県食肉生活衛生同業組合、岩手県旅館ホテル生活衛生同業組合
企画:公益財団法人岩手県生活衛生管理指導センター
平成31年度 生活衛生関係営業対策事業費補助金事業



2020版 「復興支援ガイドマップ」 発行に寄せて

岩手県飲食業生活衛生同業組合
理事長 小笠原 義彦

平成23年(2011年)3月11日に発生した東日本大震災・津波により、岩手県では多くの犠牲者、多くの家屋等が被災しました。大震災から9年が経過し、ようやく、私たち生活衛生関係営業者の仲間も、店舗を本設し、再建に向け動きだしています。

今般、厚生労働省の補助金をいただき、県内生産業者が連携し、飲食系ガイドマップを昨年に引き続き発行しました。

このガイドマップは、三陸沿岸地域を4つのエリア(久慈地区、宮古地区、釜石地区、気仙地区)に分け掲載しておりますが、本県にお越しいただいた観光客の皆様などが、本書を手にとっていただき、一人でも多くの方に店舗をご利用いただければ幸いです。

おわりに、本ガイドマップの発行にあたり、ご協力いただきました関係者の皆様に、この場をお借りして感謝申し上げます。

01

特集 復興コメント

各支部長復興コメント

互恵が育む 釜石の復興

中堅・社会・飲食・食肉(無断)などの各支部員からのコメントをご紹介します。

岩手県飲食業生活衛生同業組合
支部長 平松 正浩

岩手県飲食業生活衛生同業組合
支部長 平松 正浩

岩手県飲食業生活衛生同業組合
支部長 平松 正浩

岩手県中・小料理生活衛生同業組合
支部長 坂本 清彦

岩手県旅館ホテル生活衛生同業組合
支部長 坂本 清彦

復興は、中堅・社会・飲食・食肉(無断)などの各支部員からのコメントをご紹介します。

日本一、大震災から9年が経過し、被災地では、復興支援ガイドマップが、被災地の人々や、復興支援者から、大きな注目を集めています。被災地の人々や、復興支援者から、大きな注目を集めています。被災地の人々や、復興支援者から、大きな注目を集めています。

この復興支援ガイドマップは、被災地の人々や、復興支援者から、大きな注目を集めています。被災地の人々や、復興支援者から、大きな注目を集めています。被災地の人々や、復興支援者から、大きな注目を集めています。

この復興支援ガイドマップは、被災地の人々や、復興支援者から、大きな注目を集めています。被災地の人々や、復興支援者から、大きな注目を集めています。被災地の人々や、復興支援者から、大きな注目を集めています。

この復興支援ガイドマップは、被災地の人々や、復興支援者から、大きな注目を集めています。被災地の人々や、復興支援者から、大きな注目を集めています。被災地の人々や、復興支援者から、大きな注目を集めています。

東日本大震災等における被災状況・営業状況調査結果報告書（概要版）

I 調査の概要

1 調査の目的

平成 23 年 3 月 11 日の東日本大震災の発生から、まもなく 9 年を迎えますが、この未曾有の大災害は、被災地域の住民生活及び被災組合員の営業状況に大きな影響を及ぼしている。

この調査は、沿岸地区生活衛生同業組合員の 8 年 8 ヶ月を経過しようとする現在の営業状況を明らかにし、復旧・復興状況の実態把握を行い、どのような要望、課題等があり、その声を今後の支援策検討の参考とすることを目的とする。

2 調査の概要

(1) 調査の実施者

公益財団法人岩手県生活衛生営業指導センター（以下「岩手県指導センター」という。）

(2) 調査の実施時期

この調査は、令和元年 11 月 30 日現在で、調査を実施した。

(3) 調査の対象

各生活衛生同業組合の沿岸地区支部及び本部所属沿岸地区組合員

(4) 調査の方法

この調査は、岩手県指導センターから各生活衛生同業組合を通じ、調査対象に調査票を配布し、記入する方法により実施した。

(5) 調査の内容

調査対象である生活衛生同業組合に所属する組合員について、支部ごとに以下の調査項目について調査した。（調査票：参考資料）

- ① 被災組合員の現時点の営業状況について
- ② 現在の声・要望・課題等について

(6) 調査の結果利用上の注意事項

- ① この調査は、生活衛生同業組合の各支部を対象に、生活衛生同業組合が把握している令和元年 11 月 30 日現在の沿岸地区組合員の状況を調査したものである。
- ② したがって、生活衛生同業組合員の被災した全ての組合員を調査対象としたものではないことに注意を要する。

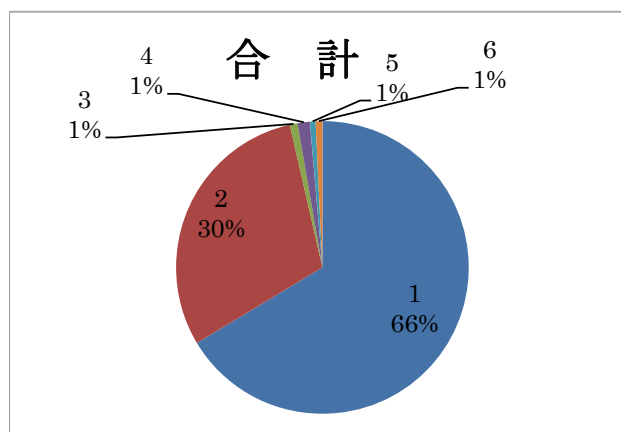
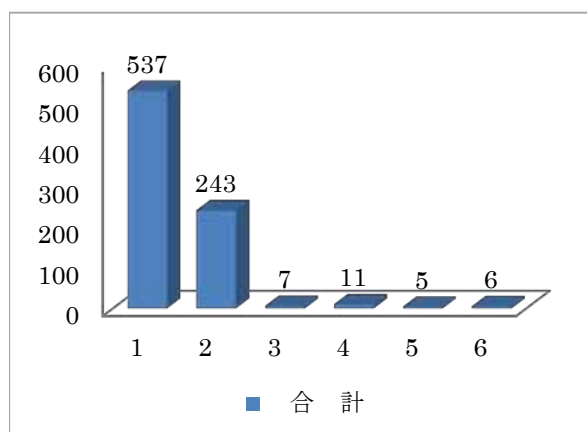
参考：これまでの調査の経過

第一回調査（平成 24 年 2 月）・・全国指導センターからの委託調査：対象地区：岩手県全域
第二回調査（平成 24 年 12 月）・・岩手県からの委託調査：対象地区：沿岸地域
第三回調査（平成 25 年 11 月）・・岩手県からの委託調査：対象地区：沿岸地域
第四回調査（平成 26 年 11 月）・・復興支援事業（全国指導センターからの委託）対象地区：沿岸地域
第五回調査（平成 27 年 11 月）・・復興支援事業（全国指導センターからの委託）対象地区：沿岸地域
第六回調査（平成 28 年 11 月）・・復興支援事業（岩手県からの補助事業）対象地区：沿岸地域
第七回調査（平成 29 年 11 月）・・復興支援事業（岩手県からの補助事業）対象地区：沿岸地域
第八回調査（平成 30 年 11 月）・・復興支援事業（岩手県からの補助事業）対象地区：沿岸地域
第九回調査（令和元年 11 月）・・復興支援事業（岩手県からの補助事業）対象地区：沿岸地域

II 調査結果（沿岸地区生活衛生同業組合員対象）

1 沿岸地区組合員の現時点（令和元年 11 月 30 日現在）の営業状況

	1 現地で営業 （被災して修繕等も含む）	2被災したが、本設して 営業	3仮設店舗で 営業	4休業中 （営業再開の意思あり）	5廃業 （今後の見込みも含む）	6その他 （訪問営業なども含む）	調査対象 組合員数
すし業	8	1	0	0	0	0	9
中華料理	23	34	0	0	1	0	58
社交飲食	0	15	0	0	0	0	15
料理業	1	4	0	0	0	0	5
飲食業	82	78	2	3	0	1	166
食肉	15	7	0	0	0	0	22
理容	149	55	3	0	0	1	208
美容業	178	36	1	0	0	0	215
興行	0	0	0	0	0	0	0
旅館ホテル	71	11	1	8	4	0	95
公衆浴場	0	0	0	0	0	0	0
クリーニング	10	2	0	0	0	4	16
合 計	537	243	7	11	5	6	809
割 合	66.4%	30.0%	0.9%	1.4%	0.6%	0.7%	100.0%



2 沿岸地区組合員及び組合別・地域別の営業状況（令和元年 11 月 30 日現在）

（1）沿岸地区組合員の営業状況

沿岸地区組合員の令和元年 11 月末現在の営業状況は、「現地で営業（被災して修繕等も含む）」が 537 人（全体の 66.4%）、「被災したが本設して営業」が 243 人（全体の 30.0%）、**「仮設店舗で営業」が 7 人（全体の 0.9%）**、「休業中（再開の意思あり）」が 11 人（全体の 1.4%）、「廃業（今後の見込みも含む）」が 5 人（全体の 0.6%）、**「その他（訪問営業なども含む）」が 6 人（全体の 0.7%）**。

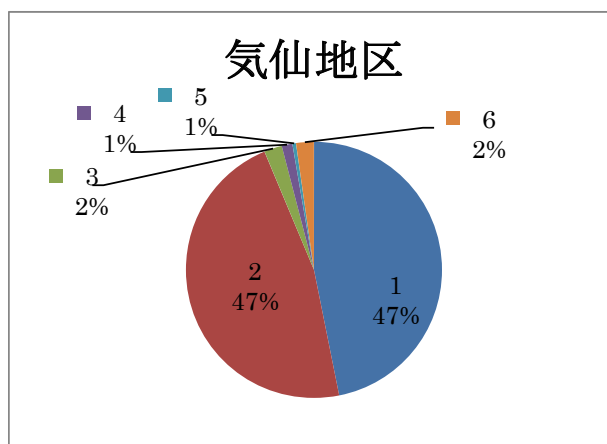
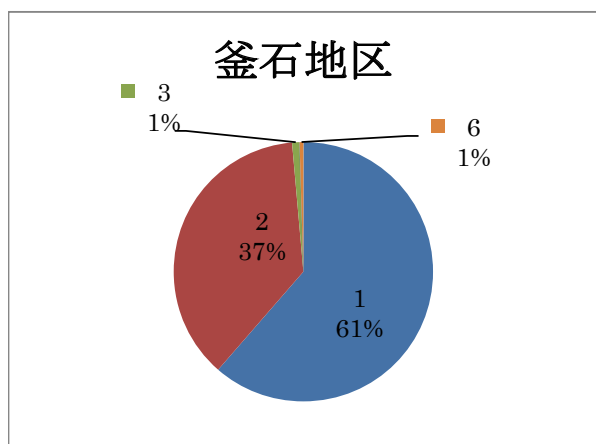
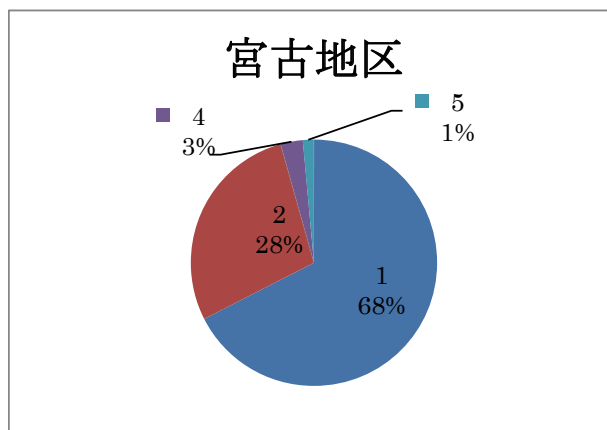
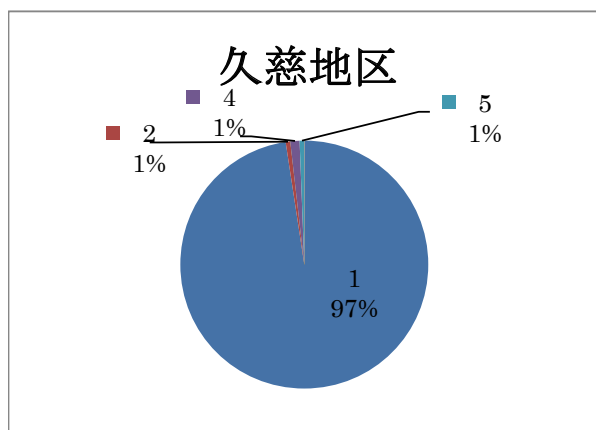
未だに、18 店舗（全体の 2.3%）が本設再開できていない状況となっている。

（2）組合別の営業状況

組合別の、「**仮設店舗で営業**」、「**休業中（再開の意思あり）**」の営業状況では、『旅館ホテル組合』が 9 店舗、『飲食業組合』が 5 店舗、『理容組合』が 3 店舗、『美容業組合』が 1 店舗となっている。

(3) 地域別の営業状況

	1 現地で営業 (被災して修繕 等も含む)	2 被災した が、本設して 営業	3 仮設店舗で 営業	4 休業中 (営業再開の意 思あり)	5 廃業 (今後の見込 みも含む)	6 その他 (訪問営業な ども含む)	調査対象 組合員数
久慈地区	162	1	0	2	1	0	166
宮古地区	139	58	0	6	3	0	206
釜石地区	132	80	2	0	0	1	215
気仙地区	104	104	5	3	1	5	222
合 計	537	243	7	11	5	6	809



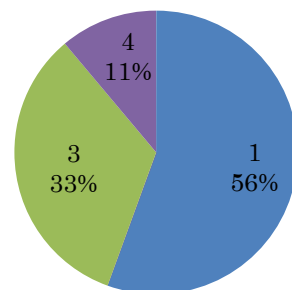
地域別の、「仮設店舗で営業」の営業状況では、次のとおり。

- 「久慈地区」は**仮設営業なし**
- 「宮古地区」は**仮設営業なし**
- 「釜石地区」は**仮設営業 2 人**（美容 1、旅館 1）
- 「気仙地区」は**仮設営業 5 人**（飲食 3、理容 2）

(4) 「仮設店舗で営業」「休業中」の方の今後の意向等

	1 本設予定	2 仮設撤去時 廃業検討	3このまま 営業	4どうしてい いかかわら ない	合 計
すし業	0	0	0	0	0
中華料理	0	0	0	0	0
社交飲食	0	0	0	0	0
料理業	0	0	0	0	0
飲食業	5	0	0	0	5
食肉	0	0	0	0	0
理容	1	0	0	2	3
美容業	1	0	0	0	1
興行	0	0	0	0	0
旅館ホテル	3	0	6	0	9
公衆浴場	0	0	0	0	0
クリーニング	0	0	0	0	0
合 計	10	0	6	2	18
割 合	55.6%	0.0%	33.3%	11.1%	100.0%

仮設店舗者の
今後の意向等

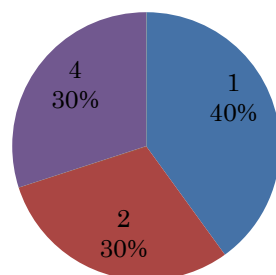


○現在、「仮設店舗で営業」「休業中」の18店中、**55.6%が「本設予定」と回答**。「現状の状態で営業を継続したい」が33.9%、「どうしてもかわからない」が11.1%となっている。

(5) 「本設予定者」の展開予定時期等

	1 令和 元年度	2令和 2年度	3令和 3年度	4時期 未定				合 計
すし業	0	0	0	0	0	0	0	0
中華料理	0	0	0	0	0	0	0	0
社交飲食	0	0	0	0	0	0	0	0
料理業	0	0	0	0	0	0	0	0
飲食業	1	3	0	1	0	0	0	5
食肉	0	0	0	0	0	0	0	0
理容	1	0	0	0	0	0	0	1
美容業	1	0	0	0	0	0	0	1
興行	0	0	0	0	0	0	0	0
旅館ホテル	1	0	0	2	0	0	0	3
公衆浴場	0	0	0	0	0	0	0	0
クリーニング	0	0	0	0	0	0	0	0
合 計	4	3	0	3	0	0	0	10
割 合	40.0%	30.0%	0.0%	30.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%

本設予定者の
展開予定時期等



○「本設予定者」10店のうち、**令和2年度までに本設が7（70.0%）**。「時期未定」は3店となっている。

現在、「仮設店舗で営業」等の方の市町村別一覧表

2019.11.30 現在

	市町村名	仮設店舗で営業	休業中 (営業再開意思あり)	計
1	久慈市		2 旅館 2	2 (1)
2	野田村			0
3	岩泉町		2 旅館 2	2 (2)
4	宮古市		3 旅館 3	3 (1)
5	山田町		1 飲食 1	1 (3)
6	大槌町	2 美容 1、旅館 1		2 (8)
7	釜石市			0 (3)
8	大船渡市	1 理容 1		1 (3)
9	陸前高田市	4 飲食 2、理容 2	3 飲食 2、旅館 1	7 (13)
計		7 (25)	11 (9)	18 (34)

※ () は、平成 30 年 11 月 30 日調査時点の数値

東日本大震災における復興支援事業の取組みと今後の方向性

1 被災状況と食事等支援

平成 23 年 3 月 11 日に発生した東日本大震災の被災状況は、岩手県全体で死者・行方不明者 6,255 人(関連死含み)、建物倒壊数 25,713 棟 (令和元年 12 月 31 日現在)。

うち岩手県生活衛生同業組合員店舗では、死者・行方不明者 46 人、建物（店舗）倒壊数 774 棟で、被災当時の全組合店舗の約 2 割が倒壊した。

沿岸部事業者の多くが被災したため、内陸部の各地区生活衛生同業組合連絡協議会が中心となり、平成 23 年 4 月 7 日から県内の避難所が解消された同年 8 月下旬までの間、避難所や幼稚園・小中高校に対して、岩手県の要請により災害救助法に基づく食事 60 万食を提供した。

また、厚生労働省や全国指導センターの支援のもと、福興応援団「暮らし再建・なりわい再生プロジェクト」を立ち上げ、飲食系組合の炊き出し支援や、興行組合の映画上映会、社交飲食業組合のカラオケバス事業、理容・美容組合の頭・肩・腕のマッサージ提供等の被災地及び被災事業者復興支援に取り組むとともに、被災地での後継者育成支援事業（小学校、中学校、高校での出前授業）も実施してきた。

なお、令和元年 11 月末現在の沿岸地区組合員は 809 人。そのうち「現地で営業（修繕等含む）」が 537 人（66.4%）、「本設して営業」が 243 人（30.0%）、「仮設店舗で営業」が 7 人（0.9%）、「休業中（再開の意思あり）」が 11 人（1.4%）、「廃業（見込みも含む）」が 5 人（0.6%）、「その他（訪問営業など含む）」が 6 人（0.7%）となっている。

2 現状・課題

- (1) 沿岸部組合員店舗のうち、18 店舗が本設再開に至っていない状況
- (2) 今後、本設予定者の 70%が令和 2 年度までに本設の意向
- (3) 復興工事減少、顧客・売上減少による経営面の不安が顕在化。
特に、旅館ホテル、飲食店での経営の先行き不安、従業員のレベルアップ、SNS、IT を活用した情報発信などの要望がある。

3 今後の方向性

東日本大震災から 9 年が経過し、ようやく約 96%の被災組合員が本設再開となった。

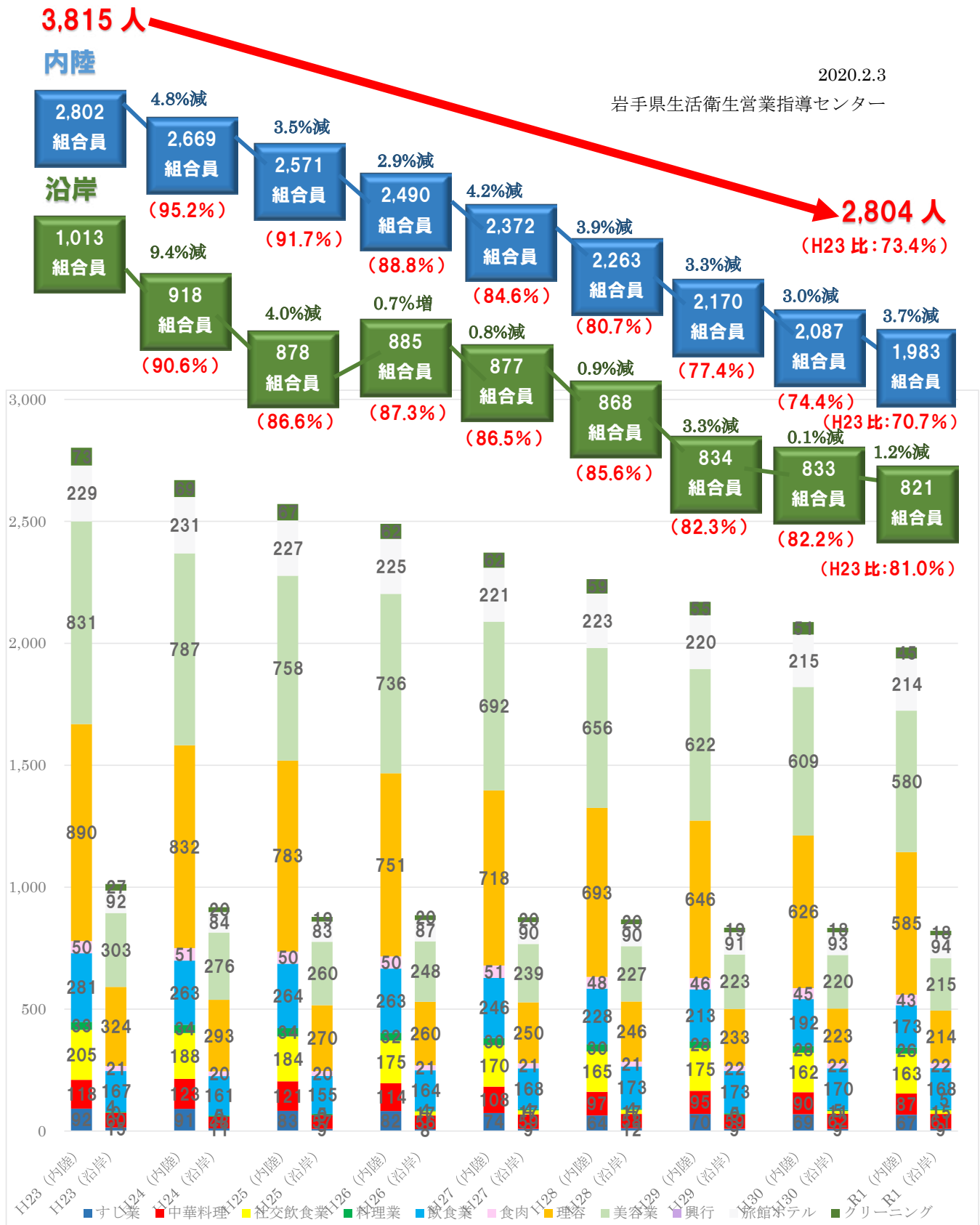
しかし、本設再開したものの、沿岸各地域において復興工事の減少や人口流出などによる顧客減少等、経営面での不安が顕在化している。

今後は、なりわいの再生に向けて、営業再開した店舗に関する情報発信のほか、経営の安定化に向けた相談・支援体制の確保が求められる。

このことから、生活衛生同業組合地区連絡協議会を中心とした、他業種連携による営業振興面での対策が必要である。

震災後の炊出し支援等の経験を活かし、生衛業の振興と被災地のコミュニティの推進にも貢献してまいりたい。

生衛業組合員数の推移（内陸と沿岸、H23 比較）



令和元年度組合員の新規加入促進

復興支援ガイドマップへの掲載、融資相談等、新規創業者へのアプローチを行い、組合員の新規加入に努めた。

県飲食業組合の沿岸地区組合員の新規加入は次のとおり。

釜石支部 1名

山田支部 4名

大船渡地区 2名

陸前高田支部2名

計 9名

県全体の状況等

組 合	H31. 4. 1 組 合 員 数	R1 新 規 加 入 数	R1脱退数	R 2. 2. 28 組 合 員 数	R1新規加入数のうち沿 岸 地 域
すし業	75	1	2	74	1
中華料理	146	7	8	145	4
社交飲食業	180	19	9	190	
料理業	31	0	0	31	0
飲食業	349	13	28	334	9
食 肉	67	0	2	65	0
理 容	806	5	23	788	3
美容業	795	29	30	794	1
興 行	23	0	0	23	0
旅館ホテル	305	6	5	306	1
クリーニング	63	0	0	63	0
計	2,840	80	107	2,813	19

「令和元年度復興支援連携事業 収益力向上等実態調査」実施要領

1 調査の目的

東日本大震災から8年が経過。沿岸被災地では、本設店舗での営業再開が進んでいるが、一方では復興工事の縮小、人口の減少等から顧客が減り、本設再開した被災生衛業者を取り巻く環境は、いっそう厳しい状況となっている。

また、東日本大震災営業状況等調査により、道路事情等の変更などから本設店舗への案内が困難なことや、地域住民への情報発信・伝達等に課題があることがわかった。

このような中で、**経営上の課題、生産性向上や収益力向上などの実態をサンプル調査し、今後の支援策等に資することを目的とし実施する。**

2 調査の内容

(1) 調査の実施者

- (1) 岩手県飲食業生活衛生同業組合（企画支援：（公財）岩手県生活衛生営業指導センター）が、久慈、宮古、釜石及び気仙地区の生活衛生同業組合連絡協議会に**調査を委託**して実施する。

(2) 調査の実施時期等

令和元年7月～9月の3ヶ月を当期とし、平成30年7月～9月の3ヶ月を前期とした比較調査を行う。

(3) 調査の対象

沿岸地区組合員（各地区10店舗×4地区）

(4) 調査の方法

- ① この調査は、県指導センターから沿岸地区連絡協議会を通じて、調査対象者に調査票を送付し、記入する方法により実施する。

【調査系統】

10月下旬 県指導センター⇒調査対象者へ調査票送付

11月20日までに 調査対象者は、県指導センターあて調査票を提出する。

調査票提出期限：令和元年11月20日(水)

- ② 県指導センターは、調査票を回収後、速やかに集計の上、令和2年1月31日(金)までに調査結果報告書を作成する。

(5) 調査内容

- ① 令和元年7月～9月の営業状況（対前年比較）
② 現在の経営上の課題等について

3 この要領は、令和元年9月11日より適用する。

令和元年度「復興支援連携事業 収益力向上等実態調査」アンケート

岩手県生活衛生関係営業復興支援連携事業事務局

本調査は、東日本大震災から8年が経過する中、被災地で営業している生活衛生関係営業者の営業状況、収益力等の状況について把握するために実施するものです。調査の趣旨にご理解いただき、ご協力くださいますようお願いいたします。

ご記入のお願い：経営者様、または経営を把握されているご家族の方に、ご回答願います。

以下、**あてはまるものに○**をしてください。(両面)

1.あなたのお店の属性をお伺いします。

(1) 業種

- 1.すし業 2.中華料理業 3.社交飲食業 4.料理業 5.飲食業 6.食肉
7.理容業 8.美容業 9.旅館ホテル業 10.クリーニング業

(2) 企業形態 1.個人 2.法人

(3) 従業員数

(個人:事業主、家族従業員、6月以上雇用パート含む、法人:常勤役員、6月以上雇用パート含む)

- 1.2人以下 2.3～5人 3.6～10人 4.11～20人 5.21～50人 6.51人以上

2.あなたのお店の業況等をお伺いします。

今年の7月～9月の3ヶ月を当期、前年の7月～9月を前期とし、比較してください。

(1) 当期の業況はどうですか？

- 1.好転 2.不変 3.悪化

(2) 当期の売上金額の増減はどうですか？

- 1.増加 10%未満 2.増加 10%～20%未満 3.増加 20%～30%未満 4.増加 30%以上
5.ほぼ不変
6.減少 10%未満 7.減少 10%～20%未満 8.減少 20%～30%未満 9.減少 30%以上

(3) 当期の利用客数はどうですか？

- 1.増加 2.不変 3.減少

(4) 当期の客単価はどうですか？

- 1.上昇 2.不変 3.低下

3.あなたのお店の課題等をお伺いします。

(1) 経営上の課題は何ですか？(該当するもの全てに○をしてください)

- 1.顧客数の減少 2.単価の低下 3.仕入価格・人件費の上昇を価格に転嫁困難
4.店舗施設の老朽化 5.従業員の確保困難 6.後継者難 7.事業資金借入難
8.その他（具体的に： ） 9.特に問題なし

(2) 生産性向上、収益力向上に取り組んでいますか？

- 1.既に取り組んでいる 2.取り組んでいないが関心がある
3.取り組んでいないし関心もない 4.その他（具体的に： ）

(3) 生産性向上、収益力向上の取り組み事例をお書きください。

(2 関心があると回答の方は、取り組みたい事例等をお書きください)

例：安価で業務効率化が期待できるソフトを導入したい。

オートシャンプーを導入し従業員の業務を軽減、その分、“癒し”を提供する付加価値の高いヘッドスパを提供、売上げ増、収益力向上となった。

(4) 組合や指導センターへの要望等、自由にお書きください。

例：安価で業務効率化が期待できるソフトを導入したいので、補助制度を教えて欲しい。

《アンケートは以上です。ご協力いただきありがとうございました。》

連携事務局：(公財) 岩手県生活衛生営業指導センター

〒020-0883 岩手県盛岡市志家町 3-13 岩手県美容会館内

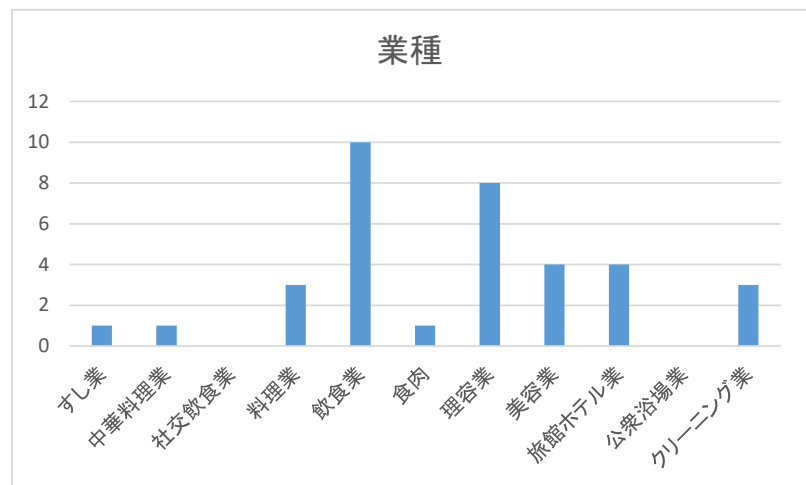
T E L 019-624-6642、F A X 019-654-2741

令和元年度 復興支援連携事業 収益力向上等実態調査 アンケート結果
沿岸4地区合計

問1. あなたのお店の属性をお伺いします

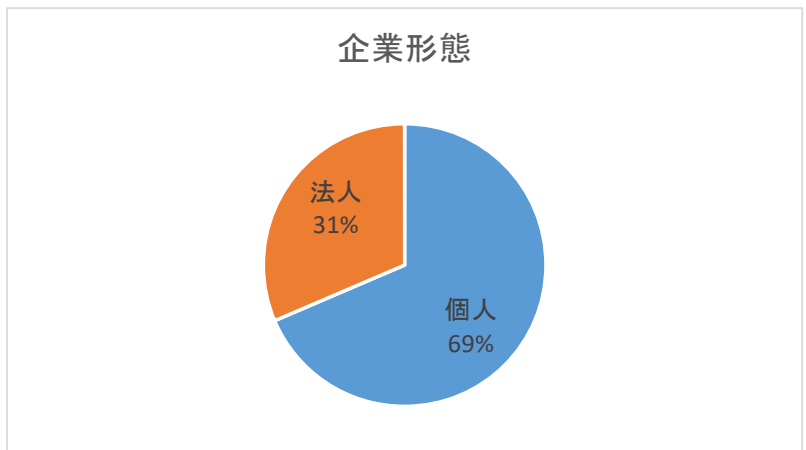
(1) 業種

項目	人数
すし業	1
中華料理業	1
社交飲食業	0
料理業	3
飲食業	10
食肉	1
理容業	8
美容業	4
旅館ホテル業	4
公衆浴場業	0
クリーニング業	3
合計	35



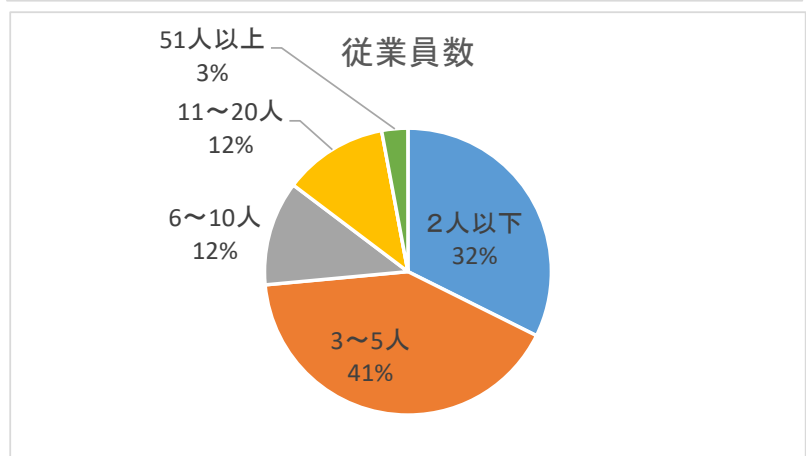
(2) 企業形態

項目	人数
個人	24
法人	11
合計	35



(3) 従業員数

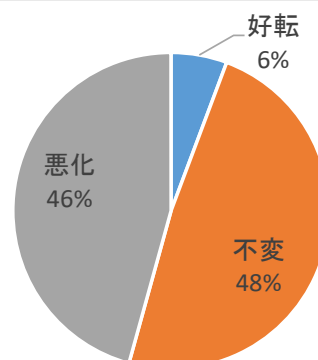
項目	人数
2人以下	11
3～5人	14
6～10人	4
11～20人	4
21～50人	0
51人以上	1
合計	34



問2.あなたのお店の業況等をお伺いします

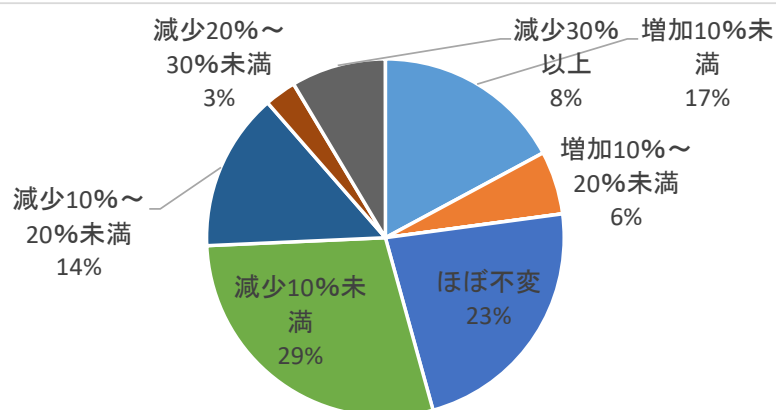
(1) 当期の業況はどうですか？

項目	人数
好転	2
不変	17
悪化	16
合計	35



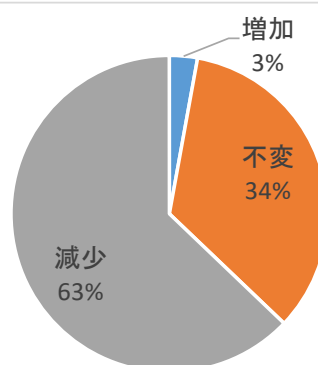
(2) 当期の売上金額の増減はどうですか？

項目	人数
増加10%未満	6
増加10%～20%未満	2
増加20%～30%未満	0
増加30%以上	0
ほぼ不変	8
減少10%未満	10
減少10%～20%未満	5
減少20%～30%未満	1
減少30%以上	3
合計	35



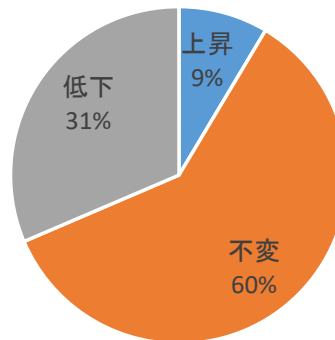
(3) 当期の利用客数はどうですか？

項目	人数
増加	1
不変	12
減少	22
合計	35



(4) 当期の客単価はどうか？

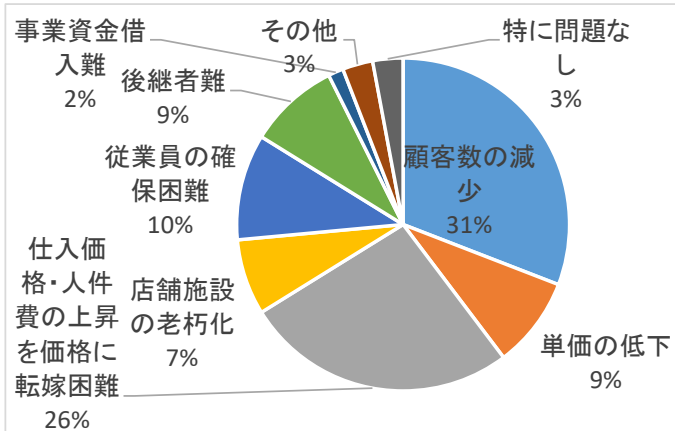
項目	人数
上昇	3
不変	21
低下	11
合計	35



問3. あなたのお店の課題等をお伺いします

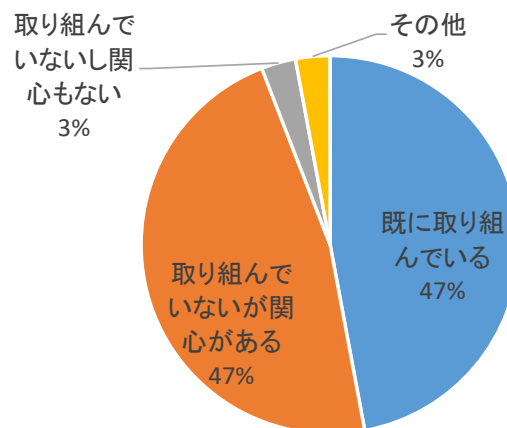
(1) 経営上の課題は何ですか？（該当するもの全てに○をしてください）

項目	人数
顧客数の減少	21
単価の低下	6
仕入価格・人件費の上昇を価格に転嫁困難	18
店舗施設の老朽化	5
従業員の確保困難	7
後継者難	6
事業資金借入難	1
その他	2
特に問題なし	2
合計	68



(2) 生産性向上、収益力向上に取り組んでいますか？

項目	人数
既に取り組んでいる	16
取り組んでいないが関心がある	16
取り組んでいないし関心もない	1
その他	1
合計	34



(3) 生産性向上、収益力の取り組み事例をお書きください。

(2 関心があると回答の方は、取り組みたい事例などをお書きください)

- ・やや高めだった単価設定を見直し単価の値上げを行った。
- ・店内の模様替え
- ・ロッドオフ又はシャンプーの最後にヘッドスパサービス。化粧品を販売しているのでメイクお手入れ法など技術サービス、店内のハンドバッグの販売でお客様が目で楽しんでいる、何か新しい取組をしてお客様に褒められる、車椅子付き添いのご主人への気軽なスペースでコーヒー提供して癒しも考えている。
- ・スタンプカードを利用した。
- ・広告を出したり、キャンプをしたり、DMを出したり。
- ・公共事業等の減少が見込まれるため宿泊形体の転換を計りたい。観光客への対応の強化など。
- ・厨房内を機械化することにより人員不足を解消しようとしている。
- ・単価アップのため、個別のサービスメニューをもうけて基本料金＋個別メニューを付加している。
- ・女性客集客に力を入れ収益力の向上をはかっている。若い世代のメンズ客のヌレパンが流行しているので従業員にアイロンパーマで技術の修得をさせている。その他、店の売上促進のための取り組み(商品説明の仕方、商品知識を学ぶ等)を講師を招いて受講し収益力の向上につなげている。
- ・安価で早く提供できるメニューの導入や新しいメニュー作りのサポート
- ・カード導入申込中、ランチメニュー増加検討中
- ・ラグビーワールドカップにあわせてメニューの見直しや英語のメニューを用意した。今後はさらに新しいメニューの開発をしていく予定です。
- ・ニーズの多いメニューを取り入れているのが、一人でできる人数が限られているので思った以上に売上は伸びない。
- ・POSレジを入れたいが高価なため諦めた。
- ・ヘッドスパ、耳洗いを提供したい。
- ・安くても良いものを仕入れる。
- ・チラシを作り、近所のホテルに挨拶しながら配って集客に努めています。新しい看板を作って目立つようにしています。料理の工夫をし、常に勉強しています。
- ・キャッシュレス
- ・軽いマッサージやヘッドスパを取り入れてお客様の気持ちをリラックスさせてあげたいです。
- ・店でキャンペーンや商品の広告など
- ・カード決済への移行
- ・粗利の向上に向けて半加品、総菜等に今まで以上に力を入れて商品点数も増やしていきます。

(4) 組合や指導センターへの要望等、自由にお書きください。

- ・今では連携事業やセミナー等への協力の負担が大きいので、個人的に事業を控えめにしてほしい。
- ・車椅子、お年寄りの方が自動バックシャンプーは辛いとおっしゃいますがどうしたら良いか考えています。前に頭を下げてのシャンプーは店内狭くなりますし、資金がかかりますので。
- ・改装資金援助などを強化して欲しい。
- ・人件費の補助制度があったら教えてほしい。
- ・今後、自然災害や災害状況の調査に記載されたところに義援金など、それに相当の何かを考えた方がいいと思います。
- ・設備のリース、修理等詳しく知りたい。(店舗施設老朽化のため)

仮設暮らしなお889人



陸前高田市中心部

㊤現在（2020年2月28日）
㊦震災直後（11年3月27日）



震災9年 岩手の今

1万8千人超の死者・行方不明者が出た東日本大震災は11日で発生から9年となった。津波被災地の岩手県は、国の復興・創生

期間（2016～20年度）の最終となる20年度、復興道路の全線開通などハード面の整備が終盤に入る。一方、889人（今年1月末現在）がいまだ仮設暮らしを余儀なくされ、被災者の暮らしの再建や心のケアは不可欠だ。復興需要は終息を迎え、地域の経済の低迷も懸念される。人口減少が進む沿岸被災地の未来をどう描くかが課題だ。

岩手県の死者数は1月末現在 2人。仮設住宅入居者は、現在で4674人、震災関連死 1ヶ所（11年10月）の4万3469人、行方不明者111 738人に比べ大幅に減った。

だが、20年度に岩手県が目指す全員の住宅再建と仮設退去を前に、再建の見通しを立てられない被災者は少なくない。災害公営住宅は予定5833戸のうち沿岸全戸を含む計5734戸が完成し、内陸部の99戸を残すのみとなった。防潮堤や水門は、134カ所を計画し94カ所（70%）が復旧・整備完了した（昨年12月末現在）。

国土交通省の建設総合統計によると、岩手県内の建設投資額（公共、民間）は震災前の10年度5323億円だったのが、復興事業で急増。ピークは15年度の1兆3466億円、それ以降は減少し、18年度は1兆1636億円となった。復興需要の縮小を見据え、地域のなりわい維持のため産業力の底上げが欠かせない。

東日本大震災で大打撃を受けた三陸鉄道（本社宮古市）。今年5月、東京五輪の聖火を「復興の火」として運ぶ大役も担う。中村一郎社長は「多くの方々の支援や激励に心から感謝している。交通、観光、交流など多くの面で三陸復興に貢献したい」と誓う。

被災者が比較的少ない区間から優先的に工事を進め、不通区間は代行輸送バスを運行して住民の足を確保。県内外からの義援金だけでなく「災害に負けないで」「必ず復活できる」などのメッセージが苦境を支えた。現在、今年20日の全線運行再開に向け復旧作業が続く。

今年5月、岩手県沿岸部では昨年3月、釜石市に「いのちをつなぐ未来館」、同9月には陸前高田市に津波伝承館「いわてTSUNAMIメモリアル」が開館。「復興五輪」を掲げる東京五輪・パラリンピックは「3・11」の記憶と教訓を世界に発信する機会となる。

死者 4674人
不明者 1112人
関連死 469人

※1月末現在